

- 産官学交流会 -

参加費
無料

新潟県における プラントベースフード市場 開拓の可能性を考える

近年、多様化しているライフスタイルへの対応や、健康意識の高まり、地球環境への配慮などのさまざまな理由から、プラントベース（植物由来）フード市場への注目が高まっています。欧米諸国に比べ、日本国内の同市場は成長段階にあります。徐々に私たちの食生活の選択肢のひとつになりつつあります。

米をはじめとする農作物が豊かな新潟県は、プラントベースフード（PBF）との親和性が高く、PBF商品を取り扱う県内企業も増えています。今回の交流会では、PBFやヴィーガンに関する企業・専門家をお招きし、新潟県におけるPBF市場開拓の可能性および課題について産官学の観点から考えていきます。

企業・自治体の方はもちろん、本テーマに関心をお持ちの学生や一般の方もぜひご参加ください。

日時

11/21 火 16:00～18:00

場所

新潟県立大学 コモンズ3号館 2階5201教室
（新潟県新潟市東区海老ヶ瀬471番地）

※公共交通機関を使用してご来場ください。

JR新潟駅からの交通アクセス：

- ・電車：JR白新線「大形駅」下車（所要時間約10分）、徒歩約15分
- ・バス：新潟駅万代口バスターミナル11番のりばから「大形線」に乗車（所要時間約25分）、
「県立大学前」バス停下車、徒歩3分 ※「津島屋」行きに乗車の場合は「大形本町」下車、徒歩8分

本企画は、新潟県立大学地域連携推進センター地域活動支援事業の支援を受けて開催されます。
協力：NPO法人ベジプロジェクトジャパン

お申込み・お問合せ



左の二次元コードまたは、新潟県立大学・ベジプロジェクトのWebサイトより申込フォームにアクセスして、必要事項をご入力の上、お申し込みください。
<https://forms.gle/bGu2scaXZ4M9c2P1A>

本件に関するお問い合わせ
下記までメールにてご連絡ください。

新潟県立大学国際経済学部ゴルシコフゼミ
✉ team.masaru.unp@gmail.com

プログラム

01 開会

16:00～ 新潟県立大学国際経済学部 Victor Gorshkov准教授

02 『プラントベースフードへの理解を深める』

16:05～ NPO法人ベジプロジェクトジャパン 代表理事 川野陽子氏



ベジタリアン・ヴィーガンの「選択肢」が当たり前にある社会の実現を目指し、ヴィーガン認証マークの運営や、企業・教育機関・政府・国際組織と協力して事業活動を行っている。認証マークはこれまでに1,500点超の商品や飲食店・学生食堂のメニューが取得している。



03 『ベジタリアンの視点で見る日本（新潟県）の食の多様性』

16:25～ 新潟県立大学国際経済学部 Tu Li-hsin講師

04 地元企業のプラントベースフード取り組み事例の紹介

16:45～ 株式会社JR東日本クロスステーション フーズカンパニー
食品製造統括事業部 十日町すこやかファクトリー 副工場長 梅澤嘉朗氏



2014年9月に開業した食品工場。東日本地域の素材を使用した菓子等に加え、十日町市の特産品である魚沼コシヒカリの米粉を使った卵、乳製品、小麦を使用しない食物アレルギー対応ケーキを製造。



05 『新潟県におけるプラントベースフード市場への参入の可能性』

17:05～ 新潟県立大学国際経済学部ゴルシコフゼミ生有志 チームまさる



2022年の「新潟食と農の未来 学生ビジョンコンテスト」へ出場。新潟県におけるプラントベースフード市場の開拓を通じて、新潟の食の可能性を広げる事を提言。亀田製菓(株)特別賞を受賞。

06 交流会・プラントベースフード試食会

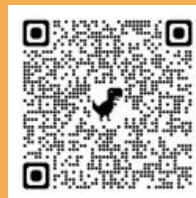
17:25～ プラントベースの商品の試食と登壇者や来場者のみなさまとの交流

07 記念撮影・閉会

17:55～

お申込み

右の2次元コードまたは、新潟県立大学・ベジプロジェクトのWebサイトより申込フォームにアクセスして、必要事項をご入力の上、お申し込みください。



申込みフォーム：

<https://forms.gle/bGu2scaXZ4M9c2P1A>

新潟県立大学：<https://www.unii.ac.jp/>

NPO法人ベジプロジェクトジャパン：
<https://vegeproject.org/>